

この度は、室内建具をご採用頂きまして誠にありがとうございます。

開梱時において、万一梱包や製品に傷などがある場合は施工前に購入先までご連絡をお願い致します。施工後のお申し出に対しては、当社としては責任を負いかねますのでご了承願います。


また、本説明書に基づき正しく施工頂きますようお願い致します。

目次





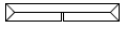




■各梱包内容	2~4
■施工手順	5~7
・開口部の確認、枠の固定、枠の取り付け位置について	5
・上レール、受け金具の取り付け、半方立の取り付け	6
・扉の吊り込み、調整など、作動確認	7
■納まり図集	8~9
■使用上のご注意	10

■各梱包内容


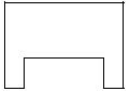


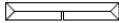




●引き戸本体 梱包内容

引き戸本体

1 枚


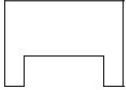






●2本引込み戸 梱包内容 (セット品番: XRU~)

縦枠	レール下地枠	レール下地枠パッキン (PB12.5mm 用)	上レール
			
1 本	2 本	2 本	2 本
見切り材	エンドキャップ	部品箱	下部マグネット
			
1 本	3 個	2 箱	12 ケ
下部Vレール			
			
2 本			







●3本引込み枠（上吊式）枠 梱包内容（セット品番：XAU～）

縦枠	レール下地枠	レール下地枠 パッキン	上レール	
				
1本	3本	3本	3本	
見切り材	エンドキャップ	部品箱	下部マグネット マグネットガイドピン	下部Vレール Vレール
				
1本	5個	3箱	24ヶ	3本

●3枚引違い（上吊式）枠 梱包内容（セット品番：XTU～）

縦枠	レール下地枠	レール下地枠 パッキン	上レール	
				
2本	3本	3本	3本	
エンドキャップ	部品箱	下部マグネット マグネットガイドピン	下部Vレール Vレール	
				
4個	3箱	18ヶ	3本	

●4枚引き分け（上吊式）枠 梱包内容（セット品番：XCU～）

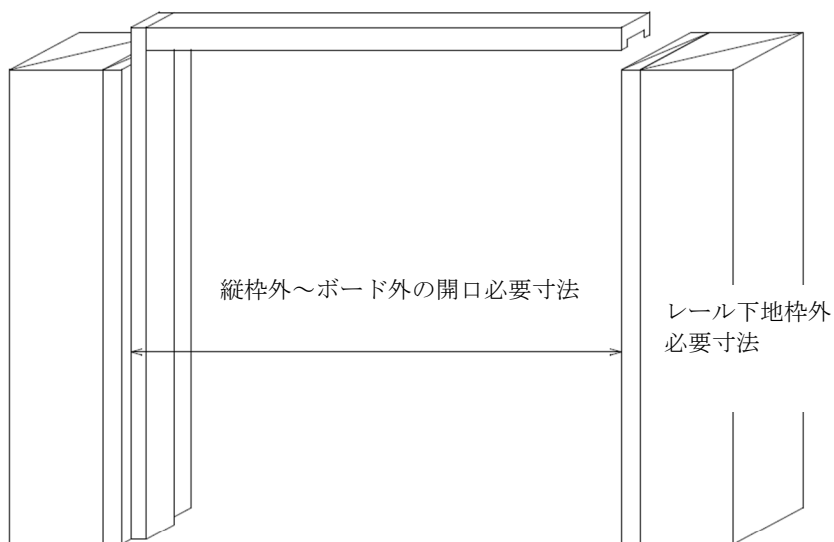
縦枠	レール下地枠	レール下地枠 パッキン	上レール
			
2本	2本	2本	2本
エンドキャップ	部品箱		
			
2個	4箱		

●部品箱 梱包内容（品番：TR-U）

縦枠固定ねじ	レール下地材固定ねじ	上レール固定ねじ	木口キャップ
 コーススレッドスクリュー 3.8×51	 コーススレッドスクリュー 3.8×51	 3.5×40	 ※建具色に合わせてどちらかの色 を使用してください。
10本	10本	8本	白、茶 各2個
ガイドローラー	上ランナー戸先側	上ランナー戸尻側	トリガー
			
1個	1個	1個	2個

■ 施工手順

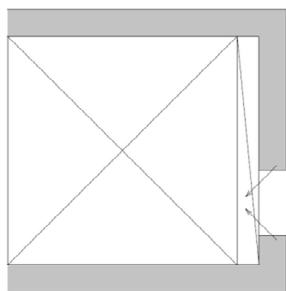
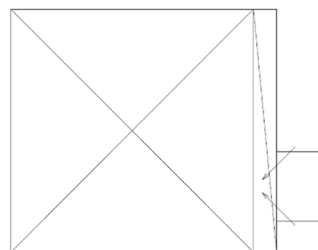
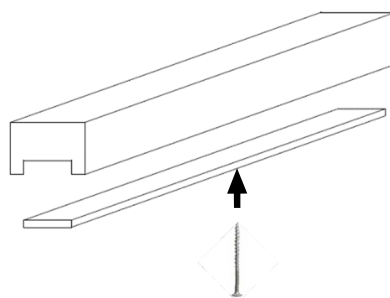
1. 開口部の確認



- 開口部の垂直・水平を正しく出して下さい。
- 開口寸法と製品寸法を照合確認して下さい。
- 納まり図を参考に開口部の寸法を確保して下さい。(左図参照)

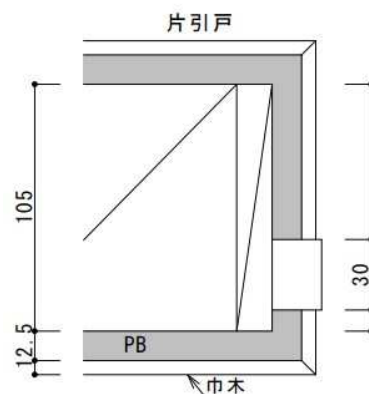
2. 枠の固定

- 1、調整した開口部に引き戸枠を仮固定してください。
- 2、水準器、下げ振りを使用して引き戸枠の水平・垂直・ねじれ・膨れを確認、調整してください。
- 3、レール下地材を同梱のビスを用いて躯体にしっかり固定してください。
- 4、柱または調整材に対して、縦枠をフィニッシュ及び接着剤で固定してください。
- 5、フィニッシュなどの頭が隠れるようにPB (12.5 mm) を施工して下さい。



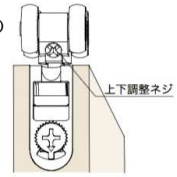
■ 枠の取り付け位置について

- 柱 105 の場合
各納まり図面を参照に位置を出して取り付けてください。

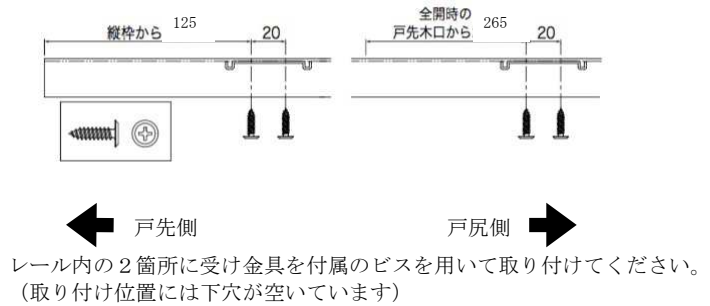
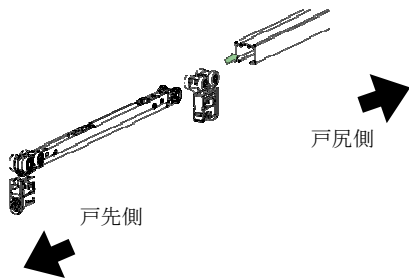


3. 上レール、受け金具の取り付け

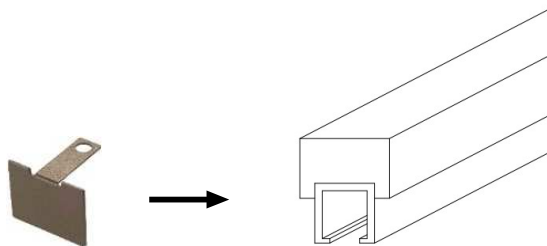
- 1、レール取り付け前に、上レールに上ローラーを2個（4枚引分けは4個）取り付けておきます。
 ※レール及びローラーの向きに注意してください（右図の通り調整ネジが外側に来ます）
 ※ソフトクローズ機能付き上吊りローラーの油圧部分は、落下などの衝撃でダンパー内の金属ピンを傷つけると油漏れの原因となる為、施工時の取り扱いにご注意ください



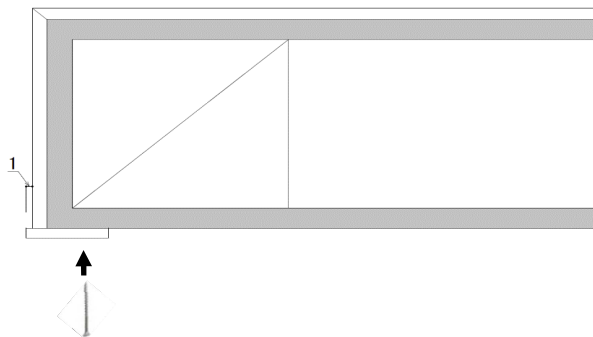
- 2、上ローラーを取り付けた上レールを上枠の溝に付属のビスを用いて取り付けます。



3、レール小口金具（レールエンドキャップ）の取付け



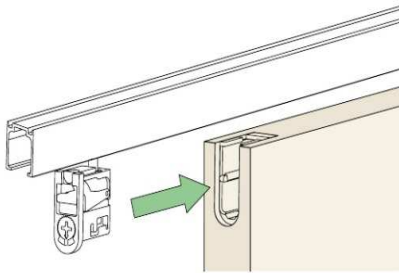
4. 半方立の取り付け (プラスターボード取り付け後)



プラスターボード取り付け後に、見切り材を接着剤と白色のフィニッシュなど目立たないもので固定してください。
 取り付け位置については、納まり図を参照ください。

※巾木の厚みに合わせて半方立の位置を調整してください。 チリ = 巾木厚+1mm

5. 扉の吊り込み



※真横からスライドし、セットしてください。

- 1、上ローラーを建具のケースカバーに取り付けます。
(ケースカバーは建具に取付済)
カチッという装着音が鳴るまで奥へしっかり押し込みます。

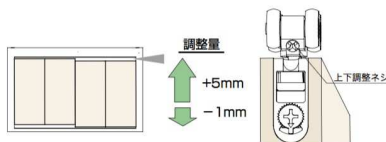
【注意】 取付が不十分ですと、作動不調・扉の落下の危険があります。

- 2、同梱の上ローラー木口カバーをはめこんでください。
(白、茶の2種類同梱してありますので
建具色に合わせて取付けてください)

6. 調整など

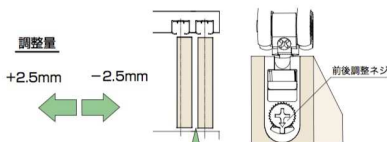
●建て付けの調整

上下調整

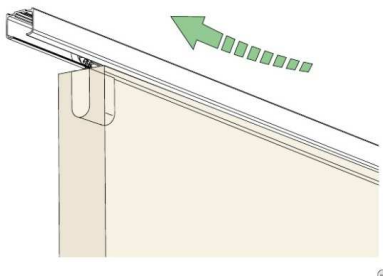


扉と枠の隙間などを確認し、手動ドライバーを用いて上ローラーで調整してください。

前後調整

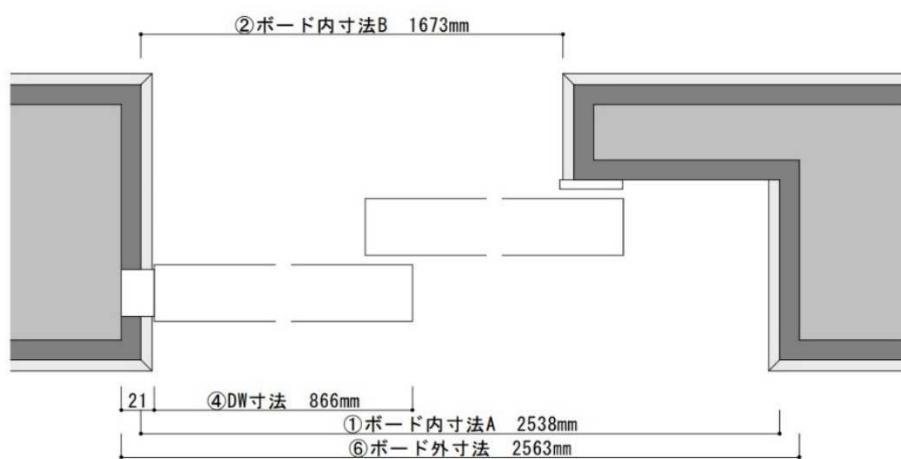
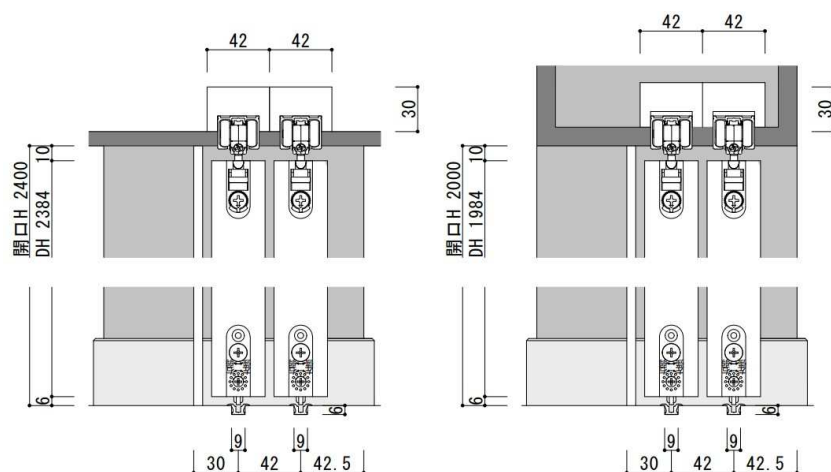


7. ソフトクローザー作動確認

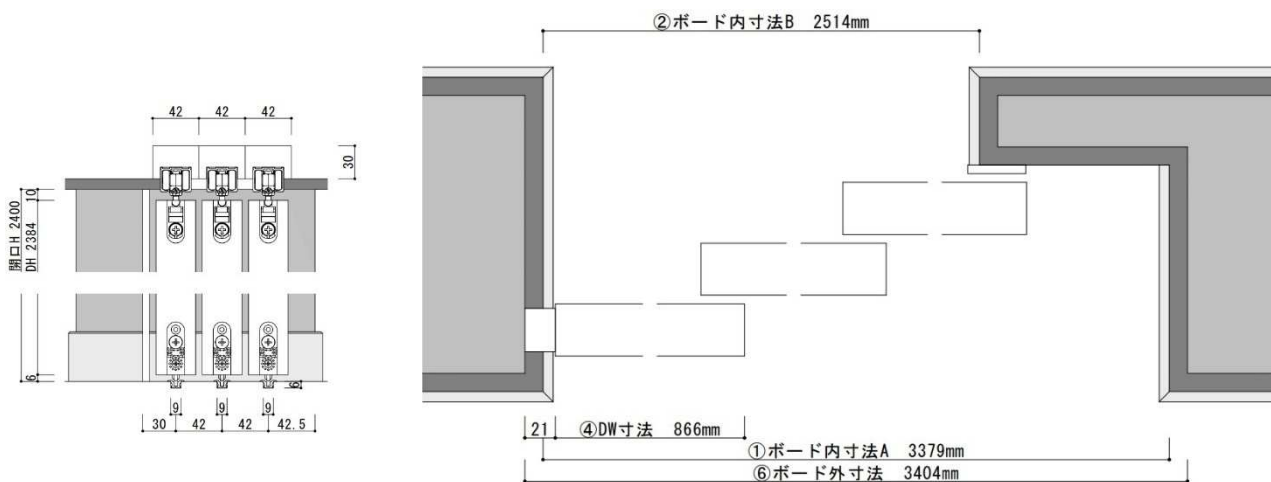


ゆっくりと扉を閉じ、ソフトクローザーが作動するかを、戸先、戸尻共に確認してください。

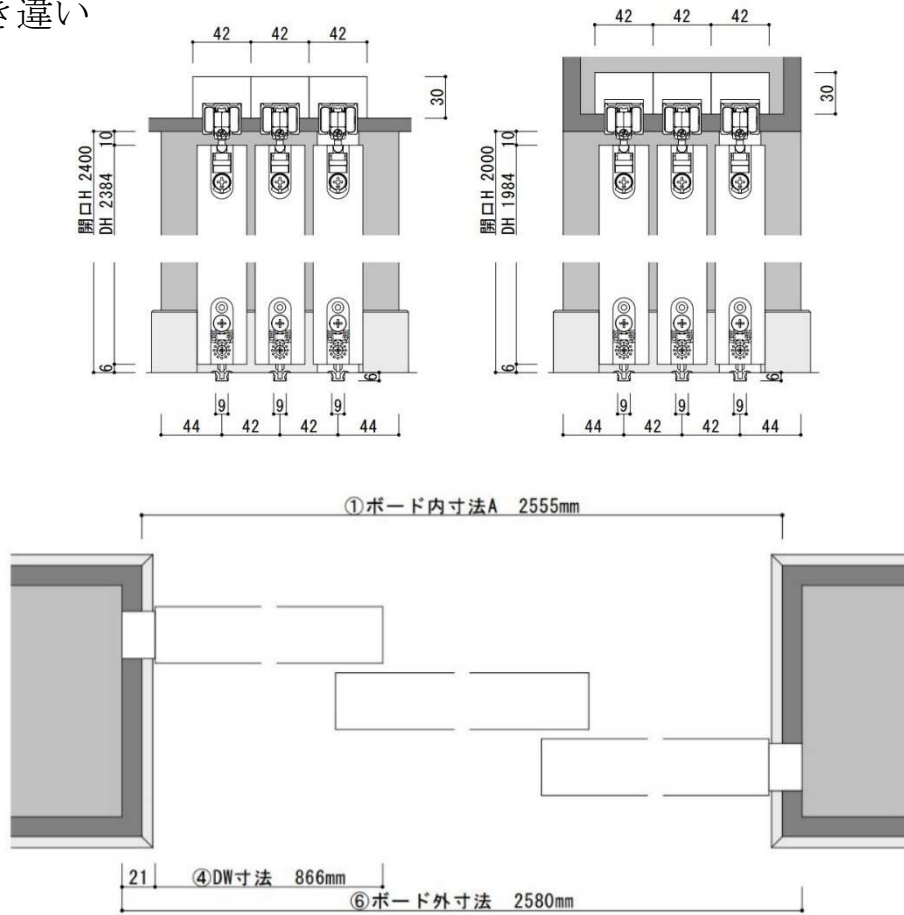
●2本引込み



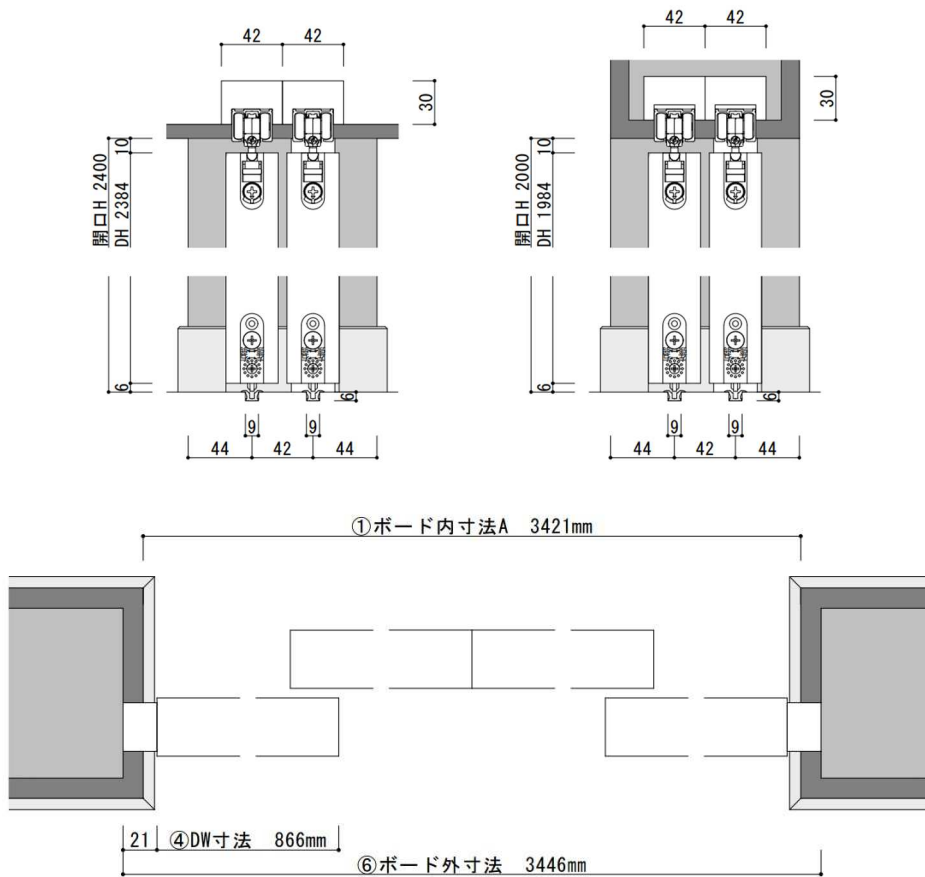
●3本引込み



●3枚引き違い



●4枚引きわけ



■ 使用上のご注意

● 人への危害や財産の損害を防止するために、必ず下記を守ってください。



警告

「死亡や重症を負うおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



実行しなければならない内容です。



警告



- ・引き戸や引手にぶら下がらない
引き戸本体が転倒してけがをするおそれがあります。



注意



- ・二人以上で作業する
一人作業では商品の転倒などによりけがをするおそれがあります。
- ・必ず付属の金具・ねじで施工する。
商品を実際に固定できず、破損・落下・転倒によりけがをするおそれがあります。
- ・ねじで部品・部材を固定する場合は、電動ドライバーなどで締めすぎによるねじの空回り、ねじ頭のつぶれがないようにする
引き戸本体などが転倒してけがをするおそれがあります。
- ・枠、レール（特に天井面）を躯体へ確実に固定する
商品や部品・部材を実際に固定できず、破損・落下・転倒によりけがをするおそれがあります。

■ 施工上のご注意

- ・ひっかき傷・打痕などには十分気をつけてください。
- ・湿気の多い場所には施工しないで下さい。本体の反りや作動不良の原因となります。
- ・建築完了まで、ダンボールや養生材・引き戸や引手にぶら下がらない
引き戸本体が転倒してけがをするおそれがあります。

■ 運搬、保管上のご注意

- ・製品の仮置きや保管は、湿気や直射日光のあたる場所を避け、床面が水平な場所に平置きしてください。
立てかけておくと、反りや変形の原因となります。
- ・運搬、荷降ろし時は、商品の角からの落下や打ち当てによる傷や変形に注意してください。
- ・直接日光の当たる場所に置かないでください。日焼けの原因になります。
- ・表面材がはがれる恐れがあるため、直接養生テープなどを貼らないでください。突板の扉は部分的に養生を行うと養生していないところだけ日焼けする恐れがあるので部分養生をしないでください。

■ お手入れ方法について

- ・特に細かなお手入れの必要はありませんが、汚れが気になる場合は、固く絞った雑巾で拭いていただき水分が残らない様に乾拭きしてください。汚れがひどい場合には、固く絞った雑巾に中性洗剤を少し染み込ませて拭いて、水分が残らない様に乾拭きしてください。
- ・突板の扉の表面はオイル仕上げです。メンテナンスでオイルを塗る場合は、サンドペーパーのかけすぎに注意してください。オイルは、アールジェイ・ひっかき傷・打痕などには十分気をつけてください。
- ・湿気の多い場所には施工しないで下さい。本体の反りや作動不良の原因となります。
- ・建築完了まで、ダンボールや養生材などで本体及び枠の養生をしてください。
※本体及び枠に直接粘着テープを貼らないでください。